

# 浪人生の倫理

## 古代ギリシャ思想

### 自然哲学

高等学校は、「成績の根源は**定期テスト**」とした。

医学部医学科は、「成績の根源は**センター試験**」とした。

国立大学は、「成績の根源は**二次試験**」とした。

三大予備校は、「成績の根源は**偏差値**」とした。

アドミッションオフィスは、「成績の根源は**調査書**」とした。

### ソフィスト

予備校の**マスプロ授業**にあきれた家庭教師は、「勉強の仕方は人それぞれ」と説いた。

### ソクラテス

**本質**を分かってもいないのに**公式暗記**を振りかざす者…愚者

**本質**を理解していないことに気づけた者…賢者

**完璧**に**理解**している者…紙

### プラトン

**受験界**には**真理**は無いと考えた

合格した姿を**想起**（アナムネーシス）する。大学生活へのあこがれ（**エロス**）。

## 古代インド思想

### バラモン教

4つの身分：院生、学生、現役高校生、浪人生

いつまでたっても浪人から抜け出せない…業報輪廻

志望校と自分の学力が一致した時に解脱できる（望我一如）

## ユダヤ教・キリスト教・イスラーム

### ユダヤ教

富裕層が多く形式重視のカテキョ派と、公式重視のリファレンス派に分かれる

### キリスト教

イエスキリストは公式主義を批判。本質的な理解を重視した。

パウロは、裏金ではなく成績によって大学に認めてもらうという成績義認論を提唱した。

アウフスティヌスは、プラトン哲学を応用し、教師哲学を確立。予習・復習・授業が本来一つのものであるとする三位一体論を提唱。

### イスラム教

参考書は天使ガブリエルを通じて予備校講師に啓示されたものである。

映像授業の崇拝を禁止した。

## 科学思想

### イギリス経験論

ベーコンは**数学的帰納法**を提唱・主著『ノヴム・オルガヌム（新校舎）』

ベーコンは合格のためには4つの**イドラ**を排除すべきと説いた。

- ・ **種族のイドラ**…計算ミスなど人類共通
- ・ **洞窟のイドラ**…経験不足などからくる視野の狭さで、例えば相加相乗で出せるのに微分してしまう等
- ・ **市場のイドラ**…言葉による偏見。今年はず数が出るぞとか、センターは難化するとかそういうの
- ・ **劇場のイドラ**…〇〇先生の解法が一番素晴らしい！！

ロックは、生まれながらにして数学 **IIIC** が出来るやつなんていないという、**タブラ・ラサ**（白紙解答）を提唱。

**ヒューム**によって、経験論は懐疑論へと陥っていった（どんだけ問題を解いても真理にはたどり着けない気がした）。

### 大陸合理論

デカルトは「**方法序説**」で、受験勉強の手順を説いた。すなわち、

1. **明証** - 自分で証明するまでは公式をつかっただけはいけない
2. **分析** - 問題を解くときに何がテーマとなっているかを検証する
3. **総合** - (1)からはじめて、徐々に難易度が上がっていく
4. **枚举** - 計算ミスやスペルミスが無いかなど見直しをする

ライプニッツは、世界は**モノマー**（単量体）からなると説いた。

## 市民革命と思想

### 社会契約説

- ・ホップズ…浪人生の自然状態は「万人の万人に対する闘争」であり、自己保存権を保障するために、自然権を予備校に譲渡する必要があると説いた。
- ・ロック…浪人生の自然状態は比較的平和であるが、所有権を保護するために、自然権を予備校に信託する必要があると説いた。ホップズと違い、クソ講師のカス授業に対しては抵抗権を認めた。
- ・ルソー…自然状態は理想的であり、浪人した原因は私有財産制であると説いた。

### カント哲学

カント哲学は批判哲学であり、経験論と合理論を総合して、「入試問題があるから解く」という従来の概念を捨て、「入試問題は本来自己の中にある」と、認識論におけるコペルニクスの転回を果たす。

### ヘーゲルの弁証法

志望校に迷ったら弁証法を使おう。

(例)

(テーゼ) 東京工業大学 (アンチテーゼ) 一橋大学

(アウフヘーベン) ⇒ (ジンテーゼ) 東京大学

### 啓蒙思想

これまでのフィーリングに頼った解法を批判し、理詰めで解答していくという思想。

モンテスキューは『法の精神』で、浪人生の力を国立・私文・医進の3つ

に分けるべきだと説いた。

ヴォルテールは**東進**の思想や文化を紹介しながら、三大予備校の腐った伝統を糾弾した。

ディドロは、ダランベールと共に『**化学 I・II の新研究**』を執筆した。

## 実証主義

コントは、浪人生の知識には3つの段階があると説いた。すなわち、**進学的段階・k2 学的段階・実証的段階**である。

スペンサーは、ダーウィンの進化論を浪人生にも適用し、**浪人進化論**を説いた。

## 功利主義

アダムスミスは、浪人生は自分の成績だけを気にして勉強していれば、**見えざる手**に導かれ、結局全員の成績が向上すると考えた。ただし、浪人生は家族の**共感**が得られる範囲内で勉強しなければならない。

ベンサムは「**最大多数の最大模試**」を提唱し、代ゼミの模試は最低だと蹴散らした。

一方でミルは「満足した **BF ランク AO 合格**より、不満足な**ハーバード首席**である方がよい」と説き、大切なのは問題の質であると説いた。

## プラグマティズム

プラグマティズムの創始者であるパースは、物理や数学の難解な概念は、**行動**によって検証できないので**無意味**だとした。

ジェームズは、『プラグマティックな哲学書』で、**役に立たないものは死んでしまえばいい**と考えた。

デューイは、知識は**道具**であると考え、民主主義の実現のためには**予備校**が必要であると考えた。

## 現代思想

### 実存主義

キルケゴールは、実存には3つの段階があると説いた。すなわち、

- 1.美的実存・志望校を下げて現役合格し、**享樂的生活**を目指す、やがて虚しくなってくる。
- 2.倫理的実存・やはり第一志望に行くことが大切だと考え浪人するが、自分の能力の無さを思い知らされ、**絶望**に陥る。
- 3.宗教的実存・教室の一番前に、「**単独者**」として席を取る段階である。絶望を乗り越えた**真のぼっち**となることができる。

ニーチェは、受かる希望を見失い地方国立大にすがろうとする「**受動的ニポリズム**」と、虚しい成績を受け止め乗り越えようとする「**能動的ニポリズム**」があると説いた。また、ニーチェは、**受動的ニポリズム**の原因を管理教育にあると考えた（「**公立高校は死んだ**」）

ヤスパースは、1日12時間勉強しても成績は下がる一方である浪人生の状況を**限界状況**とした。しかし自己の**有限性**を自覚することで、超越者（例：高2で東大模試離散1位）を感じることができ、**学歴コンプ**に目覚める。

### サルトルとハイデガー

サルトルは、「**公式**は本質に先立つ」とした。学問の本質など浪人生ごときに分かるわけが無い。まずは**公式暗記**してから本質を作り上げていくものであると説いた。

一方でハイデガーは、浪人生は本来自己の存在の意義を問う**現存在**（**ダサインデス**）であるのに、**死人**（**デスマン**）になってしまっていると説いた。**両親の声援**により、**死への存在**であることを自覚できる。

## フランクフルト学派

ホルクハイマーは、理詰めで勉強している浪人生に対し、たまにはフランクフルトを食べるくらいの精神的余裕を持つと説いた。

アドルノは、新研究や新物理入門に盲従してしまう「**権威主義的パーソナリティ**」の危険性を説いた。

ハーバーマスは、ぼっちしてないで**コミュニケーション**を重視した。



## 日本思想・古代から仏教

### 古代思想

日本古来の思想は、**現役**中心主義であり、浪人は**ケガレ**であると考えられていた。こうしたものを取り除くために、**ミツギ**（塾へ金品を納める）・**ハラ****イ****コ****ミ**（私大の寄付金は銀行経由で）などの儀式が行われた。

また、共同体の**和**を重視し、「受験は団体戦」であると考えられていた。

### 仏教の受容

浪人が日本に伝わってきた当初は、現役で大学に進学しながら浪人するという、「**仮面浪人**」の形で受け入れられた。

聖徳太子は浪人を重んじ、また十七条の憲法を制定した。有名な条文としては、

（一条） 浪人を以て**貴し**となし、**憂う**ことなきを宗とせよ  
浪人を憂うことなく堂々とせよ

（二条） 篤く**三宝**を敬へ。三宝とは、**授業**・**参考書**・**模試**なり  
授業・参考書・模試をフル活用せよ

（十条） 我必ず**天才**に非ず、彼必ず**馬鹿**に非ず、共にこれ**浪人**なり  
浪人した以上は皆同じ身分である

### 奈良仏教

この時代は予備校は国から認可を受けた学校法人ばかりで、**東進**を迫害していた。しかし、三大予備校から**東進**に続々と講師が集まり、現役合格に貢献した。

### 平安仏教

天台宗を開いた最澄は、「**一切衆生悉有合格**」と説き、誰もが合格する可能性を秘めているとした。

真言宗を開いた空海は、大学で教授から習ったことを予備校講師が間接的に教えているだけの**顕教**よりも、**大学教授**に直接教わる**密教**が良いと考えた。

## 末法思想と鎌倉仏教

坂間勇や伊藤和夫が亡くなった末法の世にあっては、**参考書**だけが残る状態となってしまった。

法然は浄土宗を開き、公式さえ唱えていれば、**丁寧な誘導**によってどんな難問でも解けると説いた。

親鸞は、浄土真宗を開き、自分の力で問題を解こうとしている人でさえ難問を解けるのだから、ましてパッパラパーでなあんにも知らない受験生が解けないわけが無いと考えた。

栄西は臨済宗を開き、末法思想を否定した。予備校で机を囲んでみんなで**過去問**を解くことで悟りを得られると考えた。

道元は曹洞宗を開き、末法思想を否定したが、栄西と異なり、黙々と自習室にこもって静かに勉強するのが良いと説いた。**試験打座**（試験中座って何も考えないこと）することで、**身心脱落**（身も心も不合格）の境地に達し、合格への執着が消える。

日蓮は、**ファインマン物理学**を最高の経典と位置付け、それ以外の教科書はカスだと罵倒した。「**プサイにファイ世の中すべて波だらけ**」と唱えることで救われる。

## 江戸前後の思想

### 朱子学

林羅山は、大学が SS ランクから F ランクまでであるのは、永遠に変わらないと説いた（上下定分の理）ため、予備校から重宝された。

### 陽明学

中江藤樹は、予備「校」を重視した。また、参考書を読むだけでなく、実際に問題を解くことによって真の知となると説いた（知行合一）。

### 古学

山鹿素行は、古学を提唱し、朱子学を役に立たないものとして批判した。

また、浪人生は院生・学生・現役の手本であるべきだと説いた。

伊藤仁斎は、古義学を提唱し、重問を最上至極宇宙第一の書とした。

荻生徂徠は古文辞学を提唱。先輩の道こそが（成績）安定化への道であると説いた。

### 民衆の思想

石田梅岩は、河合・駿台・代ゼミを融合した石門心学を提唱。正当な方法で点数を上げ、時間を節約することを説いた。

安藤昌益は、アルバイトもしないで周りに負担をかけている浪人生を厳しく批判した。

二宮尊徳は、自分の能力に応じた志望校（分度）と、ワンランク下げることにより生じる余裕を友達に譲ること（推譲）こそが人道の在り方であると説いた。

## 近現代の思想

### 福澤諭吉と明六社

実学重視の福澤諭吉は慶應義塾を設立したが、役に立たない推薦入試を廃止できず、センター利用入試を廃止してしまった。

西周は、海外のコントを披露。全くウケず、失意の余り受験用語を考案し始めた。

### 自由民権思想

中江兆民は、合格には2つあると説いた。すなわち、指定校推薦による合格（恩賜的合格）と、一般入試による合格（回復的合格）の2つであり、前者は上から与えられるだけのものであるが、後者は自らの手で勝ち取ったものである。中江兆民は、今の日本は指定校推薦をさっさと捨てて回復的合格を育て上げる必要性を説いた。

### キリスト教

内村鑑三は、2つのJ（Japan と Juken）に生涯をささげることを決意したが、現役合格した同級生に対し敬意を払わなかったことで失脚。

新島襄は、平民主義・共和主義を掲げ、関関同立の頂点たる同志社を設立した。

### 近代的自我の形成

夏目漱石は、親からやれと言われて勉強するのではなく、自らの意志で勉強することを重視した。また、自己本位の個人主義を提唱したが、決して他の受験生を蔑ろにしていというわけではなく、このため倫理的自我とエゴイズムの葛藤に陥ってしまった。最終的に、「もうどこか受かるでしょ、受験勉強飽きた」という則天去私の境地になった。

## 日本独自の思想

西田幾多郎は、主観（自分）と、客観（不合格）がまだ区別できていない合格発表直後における主客未分の直接的経験によって、真の实在を認識できると説いた。

和辻哲郎は、浪人はニートと学生の弁証法的統一体である間柄的存在であると説いた。